

入所者紹介



高橋 渡さん

昭和26年11月13日生
東予市上市出身

入所して三年余り、お話しが大好きで、お昼の食事を食堂「三恵レストラン」でとるのが楽しみの一つ。朝、居室に顔を出す時「おはよう」より先に「今日もいっしょにレストラン行く」と言うのが日課になっています。

もう一つの楽しみが入浴で「今日はニューヨークへ行く」と言って喜んでいきます。そして今、ナースコールを鳴らす練習中！排泄の時や用事のある時にいつでも鳴らせるように頑張っていると思っています。



杉浦 文雄さん

昭和8年7月1日生
越智郡弓削町出身

杉浦さんは現在あゆみ会の会長をされています。温厚な方で、部屋にはいつも園生が、困った事、嫌な事、して欲しい事などいろいろと相談に来ています。又園生や職員の仕事をよく考え、楽しいホーム作りを目標に、クラブ活動の充実などに努力されています。

昨年十二月には、写真を撮るため考案した装具（四肢麻痺用カメラ）で知事賞を頂きました。これを良き励みとして、自然を愛し、人の優しさ温もりを、写真の中に生かしたすばらしい写真を撮り続けて欲しいと思います。

平成二年は、食事の好き嫌いをなくして、体力をつけ、頑張っていると思います。



枇杷田 栄さん

昭和32年6月9日生
東予市三芳出身

枇杷田さんは、自称「三恵ホーム総部長」として頑張っています。とても良く気がついて人のお世話の好きな男性です。毎朝四時三〇分起床、二十一時消灯まで皆さんの手となり、足となって動いてくれます。入浴日のマットやゴザの準備、二階の食事ワゴンのかたづけ、ベットの上下、電動車椅子の充電、クラブ活動、リハビリの準備、ワイプロによる一日の活動日誌付け等々です。

一番感心するのは、大好きなお母さん、お姉さんと帰省しても、必ずクラブ活動やリハビリのある日には戻られて、皆さんのお世話をおこたけません。「責任感」がとても強いんですね。そして何でも始めたら続けるということです。「継続は力なり」大変教えられる姿です。

今年もがんばれ、三恵ホームの枇杷田総部長！